

○主観指標の調査結果値及び令和10年度目標値

1. 自然景観（令和5年度結果：62.4）→（令和10年度目標：62）

- ・自慢できる自然環境がある。

2. 自然の恵み（令和5年度結果：73.9）→（令和10年度目標：73）

- ・身近に自然を感じることができる。
- ・暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる。

3. 環境共生（令和5年度結果：68.2）→（令和10年度目標：68）

- ・リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである。

4. 自然災害（令和5年度結果：64.2）→（令和10年度目標：64）

- ・暮らしている地域では、防災対策がしっかりとっている。

○客観指標の調査結果

1. 自然景観（令和5年度結果：54.9）

測定趣旨：綺麗な自然の景色があるか？

- ・自然景観指数

2. 自然の恵み（令和5年度結果：65.2）

測定趣旨：豊かな自然環境はあるか？

- ・食糧生産ポテンシャル
- ・水供給ポテンシャル
- ・木材供給ポテンシャル
- ・炭素吸収量
- ・蒸発散量
- ・地下水涵養量
- ・土壤流出防止量
- ・窒素除去量
- ・リン酸除去量
- ・NO₂吸収量
- ・SO₂吸収量
- ・洪水調整量
- ・表層崩壊からの安全率
- ・緑地へのアクセス度
- ・水域へのアクセス度
- ・オートキャンプ場への立地

3. 環境共生（令和5年度結果：55.0）

測定趣旨：空気はきれいか？

- ・NO_x平均値（-）
- ・PM2.5年平均値（-）
- ・ごみのリサイクル率
- ・人口あたり年間CO₂排出量（-）
- ・人口あたり再エネ発電量
- ・環境政策指数

4. 自然災害（令和5年度結果：45.4）

測定趣旨：地球環境への負荷が高くはないか？

- ・外水氾濫危険度
- ・高潮危険度
- ・土砂災害危険度
- ・地震動危険度
- ・津波危険度
- ・ハード対策
- ・避難、救助
- ・要配慮者支援
- ・防災教育
- ・防災まちづくり
- ・情報、デジタル防災